

別記 6

## 立竹木調査積算要領

別記 6

## 立竹木調査積算要領

### 立 竹 木 調 査

立竹木の調査は、次表の樹木等の分類に応じ、調査事項欄に記載の事項について調査し、立竹木調査及び補償金算出表等を作成するものとする。

区 分	種 類	単 位	調 査 事 項
観賞樹	高 木	本	樹名、幹周囲、樹高、管理状況、位置、移植の適否、本数
	株 物	株	樹名、樹高、管理状況、位置、移植の適否、株数
	玉 物	株	樹名、葉張、管理状況、位置、移植の適否、株数
	生 垣	m	樹名、樹高、管理状況、位置、移植の適否、延長
	特 殊 樹	本	樹名、幹高等（樹種により玉周、葉長点高、樹高）、管理状況、位置、移植の適否、本数
効用樹	効 用 樹	本	樹名、幹周囲、樹高、管理状況、位置、移植の適否、本数
風致木	風 致 木	本	同 上
用材木	用 材 木	本	樹名、胸高直径、本数（又は1,000㎡当たり本数）
薪炭木	薪 炭 木	本	同 上
その他の立木	その他の立木	本	同 上
竹	竹	㎡（本）	品種（モウソウ竹にあっては、筍畑と竹林に分ける）管理状況、面積（本）
収穫樹	園 地	本	樹種、品種、根本周囲、胸高直径、樹齡、樹高、10 a 植栽本数、10 a 収穫量、本数（面積）
	散 在	本	樹種、品種、根本周囲、胸高直径、樹齡、樹高、1 本当たり収穫量、本数（面積）
	囲障・釣棚等	箇所	長さ、種類、形状寸法、材質、塗料使用の有無及びその種類、基礎の有無及びその種類、柱間の距離等
草花等	草 地 被 芝 花 類	} ㎡	面積
苗 木		本（㎡）	樹高、苗令、本数（面積）

区 分		事 項
1. 立木の測定方法	<p>(1) 立木本数の測定</p> <p>(2) 立木の測定</p>	<p>原則として毎木について行うものとし、毎木の調査が困難であると認められる場合、又は標準地における調査が得られる場合は、標準地調査を行うものとする。</p> <p>ア 毎木調査法 全体の毎木について単木調査を行う。</p> <p>イ 標準地調査法 標準地調査法による調査は、調査区域内に標準地を設けその標準地内の立木の本数を毎木調査し、比例計算によって調査区域全域の本数を算定する方法。なお、標準地の選定にあたっては、調査区域内の粗密度、径級、配置成長状況を考慮し、(少なくとも林相が異なる地区がある場合は、地区ごとに標準地を選定するものとし、標準地の面積は、1,000平方メートル(調査区域が500平方メートル以下の場合は、当該区域の10%程度)竹林にあつては500平方メートルとする。)全体の中庸と認められる箇所を選定するものとする。</p> <p>ア 伐採立木の場合 胸高直径の測定 測定位置は地上120センチメートルとする。 (ア) 立木の胸高直径の測定は輪尺又は直径巻尺により行うものとする。 輪尺をもちいる場合は、山側一方差し(平地林においては、任意方向一方差し)とする。 ただし、胸高直径の断面が不整形で最小径と最大径の差が特に著しいと認められるものについては、山側より直角二方向(平地林においては任意直角二方向差し)を測定し、それぞれ括約したものを平均して求めるものとする。 (イ) 測定位置に枝節またはこぶ等があり異形をなす立木については、測定置の上下におけるそれぞれの直径を測定し平均するものとする。 (ウ) 胸高部以下で分岐し、幹枝の区分の困難な分岐木の胸高直径は、各樹幹をそれぞれ独立の立木とみなして測定する。</p> <p>イ 立木移植の場合 根廻りの測定 立木の根廻りの測定は、巻尺により地際を測定するものとする。</p>

区 分		事 項
1. 立木の測定方法	(2)立木の測定	<p>ウ 株物の移植の場合 株廻りの測定 株物の株廻りの測定は、巻尺により地際を測定するものとする。</p> <p>エ 草花等の移植の場合 面積による測定 草花、芝生等根廻り、株廻り及び本数により調査することができないもの、又はこれらの方法によることを適当としないものについては、面積等の方法により測定するものとする。</p> <p>オ 樹高の測定 樹高は、地際（傾斜地において山側地際）より梢頭までの全長を測定する。</p> <p>カ 枝張の測定 枝張の測定にあたっては、樹冠の最長、最短を測り平均して求めるものとする。</p>
2. 収穫樹の 困障・釣棚等の調査		・ 工作物調査積算要領に準じて行う。

## 立 竹 木 補 償 金 額 算 定

立竹木調査及び補償金算出表等に基づき補償金額を算定するものとする。

立竹木関係調査表一覧表

番 号	様 式 名	様式番号
	立竹木補償金集計表	別 表 1
	立竹木調査及び補償金算出表	別 表 2
	収穫樹調査及び補償金算出表	別 表 3
	用材林調査及び補償金算出表	別 表 4

別 表 1

立 竹 木 補 償 金 集 計 表

所 有 者

項 目	単 位	数 量	金 額	摘 要
庭木・利用樹・風致木				
収 穫 樹				
用 材 林				
小 計				
庭木・利用樹・風致木消費税				
収 穫 樹 消 費 税				
用 材 林 消 費 税				
小 計				
合 計				

注) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

別 表 2

立 竹 木 調 査 及 び 補 償 金 算 出 表

構内	所在地							地目	調査年月日		平成	年	月	日
構外	住所氏名							調査者氏名						
番号	樹種	根廻り 株廻り (cm)	樹齡 (年)	樹高 (cm)	種別	調整 率	枯損率	補償 方法	単価 (円)	本数 (本)	金 額 (円)	摘 要		
合 計														

消費税補償額	(合計 × 5%)	× 5%	
--------	-----------	------	--

補償額	+		
-----	---	--	--

注) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

別 表 3

収 穫 樹 調 査 及 び 補 償 金 算 出 表

構内	所在地				地目			調査年月日	平成	年	月	日
構外	住 所 氏 名						調査者氏名					
樹 種	樹齡 (年)	根廻り (cm)	移植 伐採 の別	本数 (本)	単 価 (円)	金 額 (円)	消 費 税 対 象 単 価 (円)	消 費 税 対 象 額 (円)	摘 要			
合 計												

消 費 税 相 当 額	( の合計 × 5 % )	× 5 %	
-------------	---------------	-------	--

収 穫 樹 補 償 額	( + )	+	
-------------	-------	---	--

注) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

別 表 4

用材林調査及び補償金算出表

所在地				地目			調査年月日	平成 年 月 日		
住所名 氏名							調査者氏名			
樹種	胸高 直径 (cm)	伐採方式 控除方式 取得方式 の区分	本数 (本)	単 価 (円)	金 額 (円)	消 費 税 対象単価 (円)	消費税 対象額 (円)	摘 要		
合 計										

消費税相当額	( の合計 × 5% )	× 5%	
--------	--------------	------	--

用材林補償額	( + )	+	
--------	-------	---	--

注) 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。



